

<アセットインベントリー株式会社>

【組織概要】

事業内容： 人手を要するデータギャザリングと情報処理

Manpower & Inventory Solution

★棚卸サービス及び関連事業

- ・ 実地棚卸カウンティングと集計
単品棚卸： マスタファイルとのデータ処理
金額棚卸： 部門ごとに売価、数量を集計
資産棚卸： 備品を集計し台帳を作成・提出
蔵書点検： 蔵書管理番号を収集してニーズに合わせたレポートを提出
備品棚卸： 備品を集計し台帳を作成・提出
- ・ レジの初期データ（バーコード、数量）の取り込み
- ・ 帳簿による棚卸カウンティング

★データ入力および情報処理事業

- ・ 情報の仕訳、入力、処理およびレポート

所在地： 本社： 千葉県柏市

営業拠点： 盛岡 ～ 熊本 約30営業所

従業員数： 約1,100名

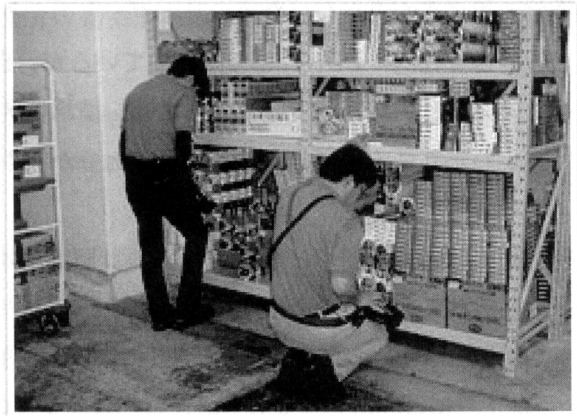
Web： 会社サイト <http://www.asset-inventory.co.jp/>

棚卸専門サイト [棚卸.jp http://tanaoroshi.jp](http://tanaoroshi.jp)

2006年10月 QMS 登録, 2009年7月 ISMS 登録

【事業の特徴】

顧客店舗の陳列商品、倉庫内、図書館など、棚卸の代行業務をしている会社です。バーコードリーダー等の専用機器と、自社開発の集計システムにより、またよく訓練されたスーパーバイザーとクルーが、迅速かつ正確な棚卸サービスを提供しています。



【マネジメントシステムの特徴】

棚卸しの業界としては唯一、QMS（2006年10月）と、ISMS（2009年07月）2つの認証を取得されています。特にISMSについては、最初から先発のQMSに融合した形とし、マニュアルも統合したものにしています。これは、お客さまに対して質の高いサービスを、確かな情報管理体制の下で提供できるようとのことです。

現在、中期経営計画のもとに、各部門が様々な取組みを展開しています。

QMSに関しては、構築した「仕組み」を個々のお客様に合わせ、またクレームや顧客アンケート結果を反映させながら業務を展開しています。ISMSに関しては、「仕事の仕組み」の中に取り込んでいて、特別な意識を喚起しなくとも、セキュリティを守ることができるように工夫されています。

（記事：JSA 釜井秀夫）